

制定日 2016年4月 1日

Safety Data Sheet
安全性データシート

株式会社コベルコ科研
兵庫県高砂市荒井町新浜 2 丁目 3-1
担当部門 ターゲット事業本部技術部
電話番号 079-445-9024
FAX 番号 079-445-9025
緊急連絡先 同上

1. 品名

タンゲステン

2. 危険有害性の要約

GHS分類	項 目	W
物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入・ガス)	分類対象外
	急性毒性(吸入・蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入・粉塵、ミスト)	分類できない(粉塵)
	急性毒性(吸入・粉塵、ミスト)	分類対象外(ミスト)
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない
ラベル要素	絵表示又はシンボル	
	注意喚起語	警告
	危険有害性情報	眼刺激
	注意書き	【安全対策】 取扱い後はよく手を洗うこと。 【応急処置】 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗うこと。 【保管】 【廃棄】
	国・地域情報:	-----

3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区別	単一物質
化学名	・タンゲステン
化学式または構造式	W
官報公示整理番号 (安衛法、化審法)	-----
CAS番号	7440-33-7
国連分類および国連番号	-----

4. 応急措置

目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに洗浄すること。 気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けること。
吸入した場合	直ちに被災者を、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。速やかに医師の診察を受ける。
予想される急性症状 及び遅発性症状	吸入した場合: 咳、咽頭通 皮膚に触れた場合: 皮膚刺激(かぶれ、ただれ、発赤) 眼に入った場合: 粘膜刺激
最も重要な兆候及び 症状	—

5. 火災時の配置消火剤

消火剤	二酸化炭素、粉末消火剤、砂、土、一般の泡消火剤。
使ってはならない消火剤	データなし
火災時の特定危険有害性	火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災地区から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め完全な防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. 暴露防止及び保護処置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
環境に対する注意事項:	河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
回収、中和:	漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の方法・ 機材:	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策:	すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策： 局所排気・全体換気： 安全取扱い注意事項： 接触回避：	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。 火気注意 接触、吸入又は、飲み込まないこと。 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管 技術的対策： 保管条件： 混触危険物質： 容器包装材料：	保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。 保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 酸化剤から離して保管する。 施錠して保管すること。 「10. 安定性及び反応性」を参照。 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	日本産業衛生学会(2005年): 第3種粉じん 吸入性粉じん 2mg/m ³ 第3種粉じん 総粉じん 8 mg/m ³ (Wとして) ACGIH(2005年): TLV-TWA 金属及び不活性化化合物 5 mg/m ³ (Wとして) TLV-TWA 水溶性化合物 1 mg/m ³ (Wとして) TLV-STEL 金属及び不活性化化合物 10 mg/m ³ (Wとして) TLV-STEL 水溶性化合物 3 mg/m ³ (Wとして)
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 空気中の濃度をばく露限界以下に保つために排気用の換気を行うこと。 高温工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。
保護具	呼吸用保護具： 呼吸保護具の使用の要求される環境下では、呼吸保護具を着用する。
	保護眼鏡： 適当な保護眼鏡もしくは安全眼鏡を着用する。
	保護手袋： 皮膚の露出を防ぐために適当な手袋を着用する。
	保護衣： 皮膚の露出を防ぐために適当な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	灰～白金属、灰色～色々の粉末
沸点:°C	5900°C
蒸気圧:Pa(20°C)	情報が入手できません。
揮発性	情報が入手できません。
融点:°C	3410 °C
比重または嵩比重	19.3
溶解度	水に不溶。
その他	-----

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性	酸、アルカリ及びその水溶液にも容易には侵されない 常温では酸素に不活性、赤熱されると酸化されて三酸化物になる。
引火点:°C	情報が入手できません。
発火点:°C	情報が入手できません。
爆発限界: 上眼 % 下限 %	情報が入手できません。
可燃性	情報が入手できません。
発火性(自然発火性・水との反応性)	情報が入手できません。
酸化性	情報が入手できません。
自己反応性・爆発性	情報が入手できません。
粉じん爆発性	情報が入手できません。
危険有害反応可能性	濃硝酸とフッ化水素酸の混合液には徐々に侵される。 熔融 $\text{KNO}_3\text{-NaOH}$ には急速に侵される。 加熱すると塩素と急激に反応する。 フッ素とは室温で反応する。
避けるべき条件	摩擦、加熱、熱、火花
混触危険物質	濃硝酸とフッ化水素酸の混合液、熔融 $\text{KNO}_3\text{-NaOH}$ 、塩素、フッ素

11. 有害性情報

腐食性	情報が入手できません。
刺激性(皮膚、眼)	皮膚:情報が入手できません。 タングステン金属粉は眼に刺激性があるという報告により区分2Bとした。
感作性	呼吸器感作性:データなし。
急性毒性 (50%致死量を含む)	経口、経皮、吸入: 情報が入手できません。
亜急性毒性	情報が入手できません。
慢性毒性	情報が入手できません。
がん原性	情報が入手できません。
変異原性 (微生物、染色体異)	情報が入手できません。
生殖毒性	事故例が一件あるが、タングステンの症状だけとはいえないので分類できない。
催奇毒性	hard metal 労働者の職業ばく露で、金属粉による咳、呼吸困難、過敏性喘息そして肺の線維症の報告だけであり、特定臓器の症例がないので分類できないとした。
その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)	情報が入手できません。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	データ不足のため分類できない。
水生環境慢性有害性	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

再利用のため回収します。

14. 輸送上の注意

キズが付きやすいので落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）(政令番号 第337号)
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則	非該当
PRTR 法	非該当

16. その他

その他 (記載内容の 問い合わせ先、 引用文献等)	記載内容の問い合わせ先	株式会社コベルコ科研
	引用文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ACGIH発行TLV_s[®] and BEI_s[®]2005 ・厚生労働省:職場の安全サイト http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx ・安全衛生情報センター http://www.jaish.gr.jp/ http://www.nihs.go.jp/ICSC/ 他
	改訂履歴	Rev.0: 新規制定

* 危険・有害性の情報は十分ではありません。また、本文書は安全の保証書ではありません